

財務部長目標

● 財務部長

駒井 三千男(こまい みちお)



● 財務部の仕事

財務部は、財政課、管財課、市民税課、資産税課、収税課の5課で構成され、予算編成、市有財産の管理、市税賦課徴収などを主な仕事としています。

● 財務部の平成29年度の目標

財務部の目標は、総合計画、実施計画の実現に向けた予算編成を行うとともに、市税の適正な課税と収納率の向上に努め、持続可能で効果的な財政運営を目指します。
また、来庁者や職員の安全性、快適性を図るため、受変電設備の更新を進めます。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の数値目標	年度末の目標達成度合
1	健全で持続可能な財政運営	総合計画、実施計画の実現に向け、効果的な財源配分を行います。また、経常収支比率の抑制に努めるなど、健全で持続可能な財政運営に努めます。	各種財政指標の適正数値の確保	30年度予算は、大規模事業の本格化に伴い、普通建設事業費を大幅に増額するなど、適切な財源配分を行いました。 28年度経常収支比率：96.0%(交付金の減などにより、前年度比3.8P増)
2	収納率の向上	収納確保対策の強化に努め、収納未済額の縮減を図ります。また、納税の利便性を高めるとともに、税負担の公平性の確保に努めます。	【市税】 現年課税分 98.6%以上 滞納繰越分 19.5%以上 現年・滞納繰越計92.5%以上 【国保税】 現年課税分 88.0%以上 滞納繰越分 15.5%以上 現年・滞納繰越計59.4%以上	29年度末 収納見込 【市税】 現年課税分 98.6% 滞納繰越分 23.3% 現年・滞納繰越計93.6% 【国保税】 現年課税分 90.0% 滞納繰越分 15.7% 現年・滞納繰越計60.1%
3	市庁舎施設整備事業(受変電設備等改修工事)	庁舎建設後30年が経過し、保守部品も製造終了となり、故障時の復旧も危ぶまれるため、29年度、30年度の2ヶ年に渡り、受変電設備全体の更新を行うものです。	29年度 受変電設備、分電盤 直流電源設備など 30年度 受変電設備、分電盤 空調設備など	29年度に予定した工事は、全て終了しました。